



若い季節

NO.86

令和5年1月発行

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号 滋賀県厚生会館・滋賀県子ども・青少年局分室内
未来にはばたく青少年の健全育成をすすめる民間団体 滋賀県青少年育成県民会議

令和4年度 滋賀県青少年育成県民大会



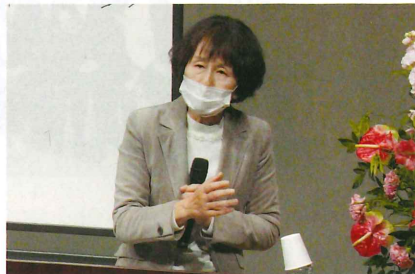
開会



知事表彰



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
入賞者表彰



講演 川口 房子氏



県民会議顕彰

青少年の活動発表



最優秀作文の発表



近江高等学校 吹奏楽部



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
絵画・ポスター入選作品掲示

主な内容

- 令和4年度滋賀県青少年育成県民大会…………… 2
- 青少年育成功労者の皆様…………… 3
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文、絵画・ポスター 入賞者…………… 4
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文 最優秀作品…………… 5
- 「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」絵画・ポスター 入賞作品…………… 8
- 市から町から（米原市・甲賀市）…………… 10
- 賛助会員紹介（企業・団体等）…………… 11
- 第26回中学生広場「私の思い2023」開催案内、賛助会員（個人）の紹介、会員募集… 12

令和4年度滋賀県青少年育成県民大会 IN 彦根

令和4年度滋賀県青少年育成県民大会を、去る11月12日(土)に彦根市みずほ文化センターで開催しました。2年ぶりの開催となりましたが、天候にも恵まれ、活動発表者も含め県内から約320名の参加がありました。

当日は、青少年の健全育成活動に尽力いただいた22名の皆さんと4つの団体の表彰や、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文・絵画・ポスターの優秀作品の表彰を行いました。青少年活動の発表では、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」最優秀賞に選ばれた児童3名の素晴らしい作文朗読発表、地元彦根市の近江高等学校吹奏楽部による心に響く演奏があり、会場が温かい空気に包まれました。

講演では、「アンガーマネジメントについて」～怒りの感情をコントロールしよう～と題して、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会ファシリテーターの川口房子氏にお話しいただきました。豊富な体験をもとにした、「怒りの感情とは」「アンガーマネジメントの3つのコントロール」などの具体的な内容で、参加者からも「明日からの生活にも生かしていきたい」との感想が寄せられました。

また、ロビーにおいて、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する絵画・ポスターの入選作品20点、湖東地域の青少年育成市町民会議や少年センターによる活動紹介も展示しました。



開会のことば
安部 侃 副会長



あいさつ
兒玉 典子 会長



知事表彰



祝辞
三日月大造 知事



祝辞
安藤 博 彦根市副市長



県民会議顕彰



講演
「アンガーマネジメントについて」
川口 房子 氏



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」
作文・絵画・ポスター表彰



閉会のあいさつ
吉田徳一郎
湖東地域連絡協議会長

受賞者の皆様

(敬称略、順不同)

滋賀県青少年等知事表彰

☆青少年

藤田 尚 見 (栗東市) スカウト活動の充実・発展、団体への貢献

☆青少年健全育成成功労者

鳴海 佳子 (京都市) スカウトの指導ならびに団体への貢献、団体の組織強化
 矢島 孝 (高島市) スカウトの指導ならびに指導者の養成、団体の発展・組織強化
 内田 秀美 (大津市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献
 奥井 さよ子 (草津市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献
 谷 とよ子 (野洲市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献
 苗村 明夫 (野洲市) 青少年の健全育成・指導、地域への貢献

☆青少年団体

もりやま青年団 (守山市) 地域に根ざした社会貢献活動の充実

☆青少年育成指導団体

小松学区青少年育成学区区民会議 (大津市) 青少年の健全育成活動、地域に根ざした社会貢献活動の充実

青山学区青少年育成学区区民会議 (大津市) 青少年の健全育成活動、地域に根ざした社会貢献活動の充実

滋賀県青少年育成県民会議顕彰

☆青少年

護法 亜葵 (大津市) 積極的なガールスカウト活動の実施、団体への貢献

☆青少年育成指導団体

祇王学区青少年育成会議 (野洲市) 地域に根ざした青少年の健全育成・指導活動を展開

☆青少年指導者

今 きよ美 (大津市) 団・県連盟の運営、リーダー養成等ガールスカウト活動の発展に寄与
 池ノ内 育子 (甲賀市) 団・県連盟の運営、リーダー養成等ガールスカウト活動の発展に寄与
 前田 香代子 (草津市) 市・県子ども会連合会における青少年の育成・指導に貢献
 加藤 明博 (湖南市) 団・県連盟の運営、リーダー養成等ボーイスカウト活動の発展に寄与
 西村 一男 (大津市) 学区区民会議および市民会議の役員として青少年の育成・指導に貢献
 小川 喜三郎 (彦根市) 子ども会連合会および市民会議役員として青少年の育成・指導に貢献
 (故)周防 保朗 (近江八幡市) 少年補導員、市民会議役員として青少年の健全育成活動に尽力
 山田 靖弘 (近江八幡市) ピオトップづくりやまちづくり活動を通して青少年の育成・指導に貢献
 我孫子 博 (草津市) 学区区民会議、市民会議役員として青少年の育成・指導に貢献
 富高 栄子 (栗東市) 民生委員児童委員、子ども安全リーダーとして青少年の育成に貢献
 田中 澄朋 (甲賀市) 伝承料理の普及、農林体験を通して青少年の育成・指導に貢献
 田中 史由子 (甲賀市) 伝承料理の普及、農林体験を通して青少年の育成・指導に貢献
 大橋 正徳 (東近江市) 市民会議および支部の役員として青少年の育成・指導に貢献
 松吉 秀司 (東近江市) 市民会議および支部の役員として青少年の育成・指導に貢献

令和4年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」入賞者

(敬称略、学年順、五十音順)

作文

☆小学校低学年（1・2年生）の部

最優秀賞	海東湊	米原市立坂田小学校	2年	かぞくみんなのたまごやき
優秀賞	小林理歩	野洲市立北野小学校	2年	おばあちゃんのトマト
優秀賞	平井穂実	守山市立守山小学校	2年	生まれてくるのを楽しみにしていてくれて、ありがとう
優秀賞	山下晃生	長浜市立速水小学校	2年	わたしはスポンジ
奨励賞	池野椰月	長浜市立小谷小学校	1年	わたしのかぞくのおはなし
奨励賞	金谷玲依	高島市立本庄小学校	2年	わたしのかぞく
奨励賞	藤本嵩仁	彦根市立城北小学校	2年	かぞくのきずな
奨励賞	脇阪真士	長浜市立小谷小学校	2年	ぼくのお姉ちゃん お兄ちゃん

☆小学校中学年（3・4年生）の部

最優秀賞	大野瀬理人	彦根市立城南小学校	4年	家族の絆
優秀賞	梅村琵琶	高島市立本庄小学校	4年	おさん歩おばあちゃん
優秀賞	大堤千世	彦根市立旭森小学校	4年	わたしの妹
優秀賞	小堀玲於奈	彦根市立旭森小学校	4年	ぼくはおわらいたん当
奨励賞	久西祐詩	長浜市立長浜小学校	3年	一日母さん
奨励賞	石村優奈	彦根市立城南小学校	4年	家族で大切にしていること
奨励賞	内藤朝陽	彦根市立佐和山小学校	4年	ぼくの楽しい家族
奨励賞	八田爽生	彦根市立城南小学校	4年	ぼくの家族

☆小学校高学年（5・6年生）の部

最優秀賞	柴田真依	長浜市立塩津小学校	5年	家族みんなでいいところさがし
優秀賞	田辺嘉音	彦根市立城東小学校	5年	私の四人きょうだい
優秀賞	伏木楓	長浜市立湯田小学校	5年	私が妹だったら・・・
優秀賞	須津和奏	草津市立矢倉小学校	6年	ばあちゃんから学んだこと
奨励賞	大地颯希	彦根市立平田小学校	5年	わたしの家族
奨励賞	木原寧音	彦根市立城北小学校	5年	笑顔あふれる私の家
奨励賞	小野桃佳	長浜市立びわ南小学校	6年	三世代家族とのふれあい
奨励賞	川田昂輝	近江八幡市立八幡小学校	6年	ぼくの自まんの家族

絵画・ポスター

児童（小学生）の部

最優秀賞	若狭海那	東近江市立八日市南小学校	4年	キャンプやこうえんおにごっこであそんだよ
優秀賞	山田暖乃	長浜市立古保利小学校	1年	かぞくみんなでお山のぼりをしたよ
優秀賞	押谷海璃	彦根市立平田小学校	5年	グランピングで花火をしたよ
優秀賞	富田夏未	米原市立米原小学校	6年	家の日曜日
奨励賞	森野泰地	多賀町立大滝小学校	1年	じてんしゃで でかけたよ
奨励賞	川瀬莉心	彦根市立金城小学校	2年	家族で夢の世界へ
奨励賞	北村啓真	守山市立速野小学校	2年	「いぎ、しょうぶ」
奨励賞	上橋正直	長浜市立長浜南小学校	3年	夏の思い出 じいちゃんのあまいトウモロコシ
奨励賞	伏木楓	長浜市立湯田小学校	5年	家族でお祝いたん生日
奨励賞	国寄心咲	愛荘町立愛知川東小学校	6年	大切な人と場所

生徒（中学生）の部

最優秀賞	堤咲貴	長浜市立浅井中学校	3年	小さな思い出
優秀賞	伊藤和奏	近江八幡市立八幡中学校	1年	宇宙にひとつの家族
優秀賞	松浦早知	東近江市立永源寺中学校	1年	Nabeと両親と私
優秀賞	中野左久來	長浜市立東中学校	3年	家族の思い出を大切に
奨励賞	乾陽奈	近江八幡市立八幡中学校	1年	家族を大切に
奨励賞	小藪蒼士	長浜市立浅井中学校	1年	あたたかい家族たち
奨励賞	加藤凜	彦根市立彦根中学校	2年	家庭は和む場所
奨励賞	橋本芽依	滋賀県立水口東中学校	2年	家族の笑顔は宝物
奨励賞	濱岡紅初	甲良町立甲良中学校	2年	温かい家庭
奨励賞	前田泰寿	長浜市立北中学校	2年	安心できる 家族のぬくもり

令和4年度

「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 作文

小学校低学年の部 最優秀賞



かぞくみんなのたまごやき

米原市立坂田小学校 2年
海東 湊

ぼくのおてつだいは、あじ見や、りょうりのじゅんびをすることです。

ぼくは、夏休みでたまごやきを6回ぐらいつくっています。あじみをしていたら、おかあさんが「たまごやきをやいてみる?」とききました。ぼくは、やいてみるといいました。

だけど、たまごをわったりするのがにが手で、からがいっぱい入ってしまいました。やくのもほとんどおかあさんがやってくれました。ぼくもおかあさんみたいにじょうずになりたいなあと思い、たまごをやくれんしゅうすることにしました。

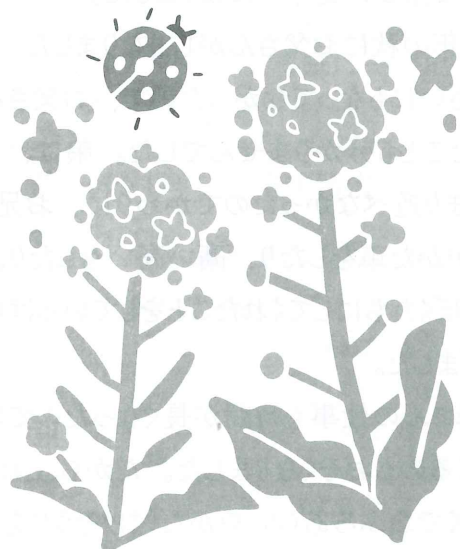
れんしゅうをしていたら、どんどんうまくなりました。一人でもあせらずに、たまごをやけるようになるようになりました。

おとうさんが、つかれてかえったので、たまごやきをやきました。おとうさんは、それを見ておどろきました。「これ、みなと一人でつくったん?」ぼくは「うん。そうだよ。」と言うと、おとうさんはおいしいと言ってくれてありがたいとおもいました。

かぞくにもっとよろこんでほしいから、もっといろいろなものをつくれるようになりたいです。たとえ

ば、おとうさんのすきなカレーライス、おかあさんのすきなフルーツサンド、おとうとにはみそしるをつくってあげたいです。

ぼくは、かぞくにもよろこんでほしいと思っていたけれど、おとうさんやおかあさんもぼくによろこんでほしいんだなと気づきました。だから、これからはどんなりょうりでもすききらいせず、のこさずたべて、大きくなりたいです。そして、かぞくみんなでのしくらしていきたいです。



小学校中学年の部 最優秀賞



家族の絆

彦根市立城南小学校 4年

大野瀬 理人

ぼくの家族は、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、ぼく、弟の5人家族です。弟がうまれて、1年くらいたったころ、新がたコロナウイルスが流行し、今まで家族でお出かけしていたのが出来なくなりました。学校も休校になり、お父さんやお母さんが仕事を順番に休み勉強を一緒にしました。友達とも外で遊ばず、ずっと家にいたので、お兄ちゃんとも、いっぱいけんかをしました。それを見てお父さんが人があまりいない、犬上川に連れていってくれました。みんなで魚をつかまえたり、いっぱい遊びました。夜は、家で花火をしたり、ホテルを見たり、人があまりいないところで楽しめるように、いろいろ考えてくれました。友達に会えず家族旅行にも行けない夏休みだったけどお父さんとお母さんのおかげで楽しい夏休みになりました。

その年の秋にお父さんが亡くなりました。弟は、まだ2さいにもなってなかったので、お父さんが亡くなったことも分かりませんでした。弟は、お父さんとあまり遊ばなかったのかかわりに、お兄ちゃんとおぼくがかた車をしたり、高い高いをしたり、お父さんがぼくたちにしてくれたことをしていっぱい遊んであげました。

お母さんの仕事も時間が長くなったので家にかえってくるのもおそくなりました。だから、お兄ちゃんとおぼくでお風呂あらいやかた付けそうじをいっぱいおてつだいするようになりました。お母さんは、

とても助かってうれしいと言っています。これからもお兄ちゃんとおぼくできょう力して、助けたいです。

お父さんが亡くなって今年で2回目のおぼんがやって来ました。おぼんは、亡くなった人がおうちに帰ってくる日と、お母さんが言っていたので、ぼくのお父さんも帰ってくると思います。あまりお父さんの記おくもない弟のためにもどんなお父さんだったか話しながら、おぼんをすごそうと思います。

お父さんがお兄ちゃんとおぼくに教えてくれたことを弟に教えていこうと思います。

お父さんのおはかには、家族みんなで、話し合ってきた絆という漢字がほってあります。これからも家族のきずなを大切に、楽しくくらししていきたいと思います。お父さんとの思い出をわすれなくて、お父さんがいなくてもお母さんやお兄ちゃんや弟で家族旅行に行きたいです。



小学校高学年の部 最優秀賞



家族みんなでいいところさがし

長浜市立塩津小学校 5年

柴田 真依

わたしの家では、2年前から「家族会議」をしています。きっかけは、お母さんがわたしたちに、話していても伝えたいことがうまく伝えられていないと感じたことでした。わたしには、二つ上のお兄ちゃんがあります。わたしたちがうまくいなくて落ちこんでいる時に、お母さんがアドバイスをしてくれることがあります。でも、何だかおこられているように感じてうまく言葉を受け取れないことがあります。お母さんは、そんなことが続いていたので、どうやたらうまく伝えられるのかをお父さんとも相談して、家族会議を始めたそうです。

家族会議では、家族の良い所と、アドバイスを1まいの紙に書きます。紙は、家族ひとりに1まい用意します。アドバイスは、もっと良くなるよという気持ちをこめて一つだけ書きます。そして、書き終わった紙をいっせいに交かします。アドバイスを参考にしてこれからの自分の目標を書きます。目標の紙はみんなが見えるところにはって、いつでも見ることができるようにしておきます。

最初、書いてみようと思っても書くのはむずかしいことでした。なぜなら、いっしょに生活していても、意外と家族の良い所に気づいていなかったからです。それに、思っていることを文字に表すのはむずかしいことだからです。だれかに見られるのがはずかしいとも思いました。いざ書こうと思うと、なかなか書けません。けれど最近は、家族の良い所を見つけることができるようになりました。それは、家族会議をきっかけにみんなの良い所を意識するようになったからです。最近は、書いているうちに、どんどん良い所が見つかってくるような気がします。

わたしは、この間の家族会議で、お父さんの良い所は、「いつも遊んでくれる」と書きました。お兄ちゃんには、「いつもやさしい」と書きました。

お母さんには、「いつも家事をしてくれる」と書きました。わたしは、ふだん当たり前に思っていることも、相手の良い所だと気づいて、それを言葉にして伝える事が大切だと思うようになりました。

アドバイスには、「おこらずに話してくれると聞きやすいです」や、「計画を立てて行動すると思う」と書きました。やっぱりまだ、自分の気持ちを文字に表すことはむずかしいけれど、伝えたいことを伝えようと心をこめて書いています。そして、家族にその気持ちが伝わればいいなと思います。家族会議は、家族のことをよく知ることができるよい機会だと思います。

いっせいに紙を交かする時は、少しニヤニヤしてしまいます。何が書いてあるのか楽しみなのと、はずかしい気持ちもあってドキドキするからです。家族にわたしの良い所を書いてもらえるのはうれしくなります。なぜかという、自分がかんばっていないと思っていることでも、かんばっているよと書いてもらうと勇気が出るからです。それに、自分の良い所を見つけることができます。紙に書いてあると相手からのアドバイスを素直に受け止めることができます。わたしは、お母さんに注意されると、今まではやる気がなくなっていたけれど、そのアドバイスを素直に受け取って直す努力をしようと思えるようになりました。

家族会議で、良い所やアドバイスを書き合うことで、家族の仲が前よりも深まったと思います。

お兄ちゃんも、「良い所や、直したほうがよい所を家族で話し合うことができるのがいい。」と言っていました。お母さんが、家族会議を考えたのは、成功だったと思います。これからも、家族会議を続けていって、良い所やアドバイスを交かすることで家族の仲が深まっていくとよいと思います。

令和4年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」絵画・ポスター
 児童(小学生)の部 入賞作品



「キャンプやこうえんおにごっこであそんだよ」

最優秀賞 若狭 海那
東近江市立八日市南小学校 4年



「かぞくみんなで お山のぼりをしたよ」
優秀賞 山田 暖乃
長浜市立古保利小学校 1年



「グランピングで花火をしたよ」
優秀賞 押谷 海璃
彦根市立平田小学校 5年



「家の日曜日」
優秀賞 富田 夏未
米原市立米原小学校 6年



「じてんしゃで でかけたよ」
奨励賞 森野 泰地
多賀町立大滝小学校 1年



「家族で夢の世界へ」
奨励賞 川瀬 莉心
彦根市立金城小学校 2年



「いざ、しようぶ」
奨励賞 北村 啓真
守山市立速野小学校 2年



「夏の思い出 じいちゃんのあまいトウモロコシ」
奨励賞 上橋 正直
長浜市立長浜南小学校 3年



「家族でお祝いたん生日」
奨励賞 伏木 楓
長浜市立湯田小学校 5年



「大切な人と場所」
奨励賞 国寄 心咲
愛荘町立愛知川東小学校 6年

令和4年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 絵画・ポスター
 生徒(中学生)の部 入賞作品



「小さな思い出」
 最優秀賞 堤 咲貴
 長浜市立浅井中学校 3年



「宇宙にひとつの家」
 優秀賞 伊藤 和奏
 近江八幡市立八幡中学校 1年



「Nabeと両親と私」
 優秀賞 松浦 早知
 東近江市立永源寺中学校 1年



「家族の思い出を大切に」
 優秀賞 中野 左久来
 長浜市立東中学校 3年



「家族を大切に」
 奨励賞 乾 陽奈
 近江八幡市立八幡中学校 1年



「あたたかい家族たち」
 奨励賞 小藪 蒼士
 長浜市立浅井中学校 1年



「家庭は和む場所」
 奨励賞 加藤 凜
 彦根市立彦根中学校 2年



「家族の笑顔は宝物」
 奨励賞 橋本 芽依
 滋賀県立水口東中学校 2年



「温かい家庭」
 奨励賞 濱岡 紅初
 甲良町立甲良中学校 2年



「安心できる 家族のぬくもり」
 奨励賞 前田 泰寿
 長浜市立北中学校 2年

市から 町から

「まいばらっこ」の健やかな成長を願って

米原市青少年育成市民会議

米原市青少年育成市民会議は、青少年の健全育成を地域の最重要課題の一つとして捉え、行政、および関係機関・団体との連携を図りながら、4支部が一体となり、地域ぐるみの取組を積極的に進めています。

○「あいさつ」の輪を広げる活動

毎月最初の平日に、駅前など市内各所に立ってあいさつ運動を実施しています。市民会議関係者はもちろん、「市民みんなで取り組むあいさつ運動」と銘打って各自治会にチラシを配布し、全市民に協力を求めています。また、市内各小中学校の児童、生徒や一般市民に「あいさつ標語」の応募を呼びかけ、出品された作品から優秀作品を選定し、10月に開催した表彰式で表彰するとともに、健全育成の諸活動に活用していただけるよう、3色の「啓発用のぼり」や「オリジナルクリアホルダ」を作成しています。

○子どもの豊かな体験を促す活動

伊吹・山東・近江・米原の4支部が独自の特色ある育成事業に取り組み、家庭や地域と連携しながら豊かな体験を促す場づくりに努めています。また、例年実施している中学生広場「私の思い2022」市広場は、今年度もコロナ禍のため、学校ごとに取材をして、市行政放送局「伊吹山テレビ」で特集を組んで放送しました。



○子どもの安全確保を図る活動

市民会議評議員・警察署・子ども安全リーダー・補導(委)員・スクールガード、さらに「子ども110番のおうち・くるま」協力者等と連携して、週1回のパトロール活動や8・3運動により子どもたちの安全と安心を見守っています。



○市民会議の啓発活動

当市民会議の活動紹介や青少年健全育成啓発のため、年度末に「青少年育成だより」を発行し、市内全戸に配布しています。

○家庭教育、子育てを支援する活動

核家族化や地域社会の結びつきの希薄化等によって、保護者の孤立化や育児不安が増大し、家庭の教育力の低下を招いている現状に鑑み、市PTA連絡協議会との共催で「青少年育成市民会議表彰式・PTA教育講演会」を開催し、家庭教育や子育てに関する啓発(講演会)や「あいさつ運動」の普及などに努めています。また、その際に市民会議顕彰者の表彰も行っています。



「地域の子どもは地域で守り育てましょう…」

甲賀市青少年育成市民会議

新型コロナウイルス感染症が流行し始めて三年以上が経過し、未だに収束しない日々が続いています。非接触でのコミュニケーションは難しく、これまで当たり前だと思ってやっていたことが急にできなくなりコロナ禍の今だからこそ必要なことを考えて活動しています。

新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、青少年健全育成市民大会などの大きな事業は取りやめ、青少年に関わる団体や地域の皆さんに向けた研修会等を実施しています。今年度は、子どもたちが夏休みに入るタイミングで、水辺での事故を未然に防ぐ手段の一つとして、ライフジャケット着用の重要性を伝えたく、ライフジャケットの森重裕二さんを講師に招き「思いはただ一つ!子どもたちの命を守ること」と題し研修会を実施しました。森重さんのお話を聞いたことで新たな気づきにもなり、尊い命を守るために正しい知識を身につけていただき、理解してもらうことでより多くの方に広まっていくことを願っています。こんな時だからこそ、地域の皆さんと協力しながら青少年の健全育成に関わる研修会等を積極的に行っていきたいと思っています。



また、当市民会議の活動の一つとして、市内20カ所に悪書等を回収するための白ポストを設置しています。回収作業を通して近年、性の対象が低年齢化しているようにも思われます。子どもたちの周りで情報化がどんどん進んで、手軽にいろんな情報を手にすることができる反面、一歩間違えば簡単に危険にさらされてしまうことも課題となっています。



まだまだ制限された中での活動となりますが、それぞれの学区(地区)民会議では、工夫をしながらあいさつ運動や、花いっぱい運動、登下校の見守り活動をされています。一番近くで子どもたちを見守っていただいている地域の皆さんの協力を得ながら、今後も「大人が変われば子どもも変わる」を合言葉に、学校や家庭では体験できないことや、自分たちが暮らす郷土の素晴らしさを知るきっかけ作りができるよう活動していきたいと思ひます。

コロナ禍を経て大人も子どももたくさんの大切なことに気付かされたことと思ひます。この経験が今後の活動に繋がることを願っています。